

令和2年度 旭川荘厚生専門学院 学校自己評価

学校法人旭川荘
旭川キャンパス・吉井川キャンパス

I 学校自己評価の基本方針

(1) 目的

医療福祉人材を養成する専修学校として、教育の質の向上と学校運営の改善を目的とする。

(2) 評価項目及び評価手順等

私立専門学校等評価機構の専門学校等評価基準書に規定する評価項目に本学独自の評価項目を加え、各項目につき教職員が10段階評価を行い平均値を学校自己評価報告書（以下「報告書」という。）に記載する。記述項目は学校評価委員会（以下「委員会」という。）が語句等を整理する。

(3) 評価の実施

毎年3月に教職員が評価し、結果を委員会が取りまとめる。

(4) 評価結果

委員会は評価結果を踏まえ、教育活動の質の向上及び学校運営の改善に関する提言を取りまとめ、理事長に報告するものとする。

(5) 公表等

委員長は、評価結果を学校法人理事会・評議員会に報告し、承認を受けなければならない。また、理事会等で承認を受けた報告書をホームページ上で公開するものとする。

II 評価結果

教職員が10段階の自己評価を行った大項目（I～XI）ごとの平均値が次表である。

※評価基準・・・非常に適切(該当)で評価できる・・・10, 9, 8
 ますます適切(該当)で評価できる・・・7, 6
 やや不適切(非該当)で評価できない・・・5, 4
 非常に不適切(非該当)で全く評価できない・・・3, 2
 論外・・・1 平均値5.5

1) 大項目評価結果

項目	全体	旭川	吉井川
I 教育理念・目的	7.5(7.5)	7.6(7.6)	7.1(7.2)
II 学校運営	7.4(7.3)	7.5(7.3)	7.1(7.2)
III 教育活動	7.3(7.1)	7.4(7.1)	7.3(7.3)
IV 教育成果	○ 7.8(7.4)	7.6(7.2)	☆ 8.4(8.1)
V 学生支援	7.7(7.4)	7.8(7.3)	7.4(7.6)
VI 教育環境	■ 6.8(6.6)	■ 6.6(6.2)	7.5(7.9)
VII 学生募集	○ 7.9(7.2)	8.1(7.4)	7.5(6.5)
VIII 財務	■ 6.9(6.5)	7.1(6.5)	■ 6.3(6.3)
IX 法令遵守	○ 7.8(7.5)	7.8(7.5)	7.4(7.5)
X 社会貢献	☆ 8.1(8.1)	☆ 8.2(8.1)	7.7(8.6)
XI 旭川荘との連携	7.3(7.6)	7.3(7.6)	7.5(7.6)

☆、○：高評価 ■：低評価

() は前年度評価値

特に評価が高かったのは「社会貢献」(8.1)、次に「学生募集」(7.9)、「教育成果」「法令遵守」(いずれも7.8)で、低い項目は「教育環境」(6.8)、「財務」(6.9)であった。

最高評価項目「社会貢献」について、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により学生のボランティア活動がほとんどできず、吉井川キャンパスにおいては前年度比0.9ポイント下がったものの、空き教室の貸出や会場の提供、また、感染対策をとりながら地域住民を対象とした公開講座(ワンポイントセミナー)を中止することなく継続実施できたことなどが全体評価を押し上げたと考える。また、学生募集は前年度を0.7ポイント上回り、コロナ禍においてSNSを活用した広報活動が一定の評価を得たと推測される。ただし、学生確保の面で結果が伴っておらず、効果の検証が急務である。

一方、低評価の「教育環境」「財務」は、両項目とも前年度より評価値は改善したものの、毎年低評価項目となっている。学生確保が財務状況へ影響し、そのことが教育環境の改善を阻んでいると考える。

キャンパス別にみると旭川キャンパスは「社会貢献」が高評価で「教育環境」が低評価となった。旭川キャンパスは建物、備品の老朽化が顕著で、このことが低評価に繋がっていると考えられる。さらに今年度は新型コロナウイルス感染対策の関係で教室の温度管理が難しく、そのことが教育環境の低評価に拍車をかけたと思われる。

吉井川キャンパスでは「教育成果」が非常に高評価となった。成績や進路への迷い、心身の体調管理についての個別相談を実施し、相談室と連携しながら教育を進めてきた結果、休学者、退学者を1名も出さなかった。また、社会福祉法人旭川荘職員と連携しながら外国人留学生への教育を実施した。これらの教育活動が高評価に繋がったと考える。

2) 小項目評価結果

小項目では「就職率の向上が図られているか」「資格取得率の向上が図られているか」が8.6ポイントと最も高く、「進路・就職に関する支援体制は整備されているか」「学生相談に関する体制は整備されているか」が8.5ポイントで続いている。いずれも大項目(4)教育成果、(5)学生支援に関するもので、資格取得を目指す専門学校が、資格取得率の向上を図り、就職率の向上を図っている結果であり大いに評価できる。

一方、「中長期的に財務基盤が安定しているといえるか」が5.7ポイントと7年連続最低評価で、唯一6.0ポイントを割る結果となった。管理部門職員のみならず、教員間でも危機感がもたれている。これは学生確保に苦慮している結果を如実に反映しており、学院の重要課題となっている。また、「施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか」が6.3ポイントと低評価で、財務状況がこの結果と関連していると考えられる。専門学校として施設・設備の数量基準を満たすことのみならず、その質の向上を図る必要があると考えている。

(1) 教育理念・目的

評価項目	平均	旭川	吉井川
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	8.3	8.2	8.4
学校における職業教育その他の教育指導の特色が明確か	8.2	8.2	8.0
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	6.8	7.0	6.0
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが広く周知されているか	6.9	7.1	6.0
各学科の教育目標、育成人材像は、関係業界のニーズに合致しているか	7.5	7.7	7.0

(2) 学校運営

評価項目	平均	旭川	吉井川
目的等に沿った運営方針が策定されているか	7.5	7.6	7.0
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	7.6	7.8	7.0
運営組織や意思決定機能は、規則等で明確化され有効に機能しているか	7.2	7.4	6.2
人事、給与に関する規程等は整備されているか	7.8	7.8	7.8
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	7.4	7.4	7.4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	7.5	7.5	7.4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	7.4	7.4	7.2
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	6.6	6.7	6.4

(3) 教育活動

教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	7.8	7.8	8.0
教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育目標や学習時間の確保	7.7	7.7	7.9
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	8.0	7.9	8.4
キャリア教育・実践教育の視点に立つカリキュラムや教育方法の工夫・開発	7.5	7.6	7.1
業界団体・関係施設等との連携によるカリキュラムの作成・見直しの実施	7.0	7.0	6.9
関連分野における実践的職業教育が体系的に位置づけられているか	7.7	7.8	7.1
授業評価の実施・評価体制はあるか	6.6	6.8	5.9
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	6.9	6.9	6.7
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	8.0	8.2	7.4
資格取得等に関する指導体制やカリキュラムの体系的な位置づけはあるか	8.0	8.1	7.7
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか	7.3	7.2	7.6
関連分野と連携し、優れた教員確保等のマネジメントが行われているか	6.9	6.8	7.3
先端知識・技能等の修得や教員の資質向上のための取組が行われているか	6.8	6.7	7.3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	6.6	6.6	6.6

(4) 教育成果

就職率の向上が図られているか	☆8.6	8.5	8.9
資格取得率の向上が図られているか	☆8.6	8.5	8.7
退学率の低減が図られているか	7.7	7.4	9.4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	7.2	7.0	8.0
卒業後のキャリア形成効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	6.8	6.8	6.9

(5) 学生支援

進路・就職に関する支援体制は整備されているか	○8.5	8.5	8.4
学生相談に関する体制は整備されているか	○8.5	8.6	7.6
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	8.0	8.0	8.1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	8.2	8.3	7.7
課外活動に対する支援体制は整備されているか	7.0	7.4	5.6
学生の生活環境への支援は行われているか	7.3	7.2	7.7
保護者と適切に連携しているか	8.1	8.1	8.1
卒業生への支援体制はあるか	7.3	7.5	6.7
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	7.3	7.2	7.6
高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組を行っているか	7.1	7.2	6.9

(6) 教育環境

施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	■6.3	6.0	7.7
実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な体制整備	7.1	7.1	7.5
防災体制は整備されているか	6.9	6.8	7.3

(7) 学生募集

学生募集活動は、適正に行われているか	8.0	8.2	7.6
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	7.5	7.8	7.1
学納金は妥当なものとなっているか	8.1	8.2	7.8

(8) 財務

中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	■5.7	5.8	5.3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	6.9	6.9	6.5
財務について会計監査が適正に行われているか	7.6	7.9	6.5
財務情報公開の体制整備はできているか	7.6	7.7	7.0

(9) 法令遵守

法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	8.0	8.1	7.3
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	8.1	8.1	7.7
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	7.2	7.2	7.0
自己評価結果を公開しているか	7.8	7.8	7.7
【記述項目】 □自己評価結果は評価委員で情報共有しており、改善点を協議している。 □自己評価結果は、ホームページ上で広く社会に周知している。			

(10) 社会貢献

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	7.9	8.1	7.2
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	8.4	8.6	7.4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	8.0	7.8	8.4

(11) 旭川荘との連携

行事等においてお互い協力できたか	6.9	6.8	7.3
旭川荘と連携した教育活動ができたか	8.1	8.2	7.7
人事交流を行っているか	7.3	7.3	7.1
旭川荘への就職希望者はいるか	7.0	6.9	7.7